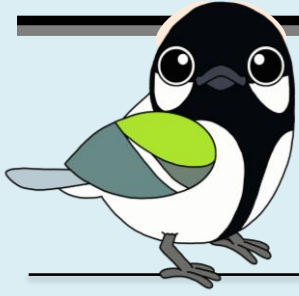


## しじゅうから



小鳥の森で観察してみよう 139

## ミソサザイ

分類 スズメ目 ミソサザイ科

大きさ：10～11cm

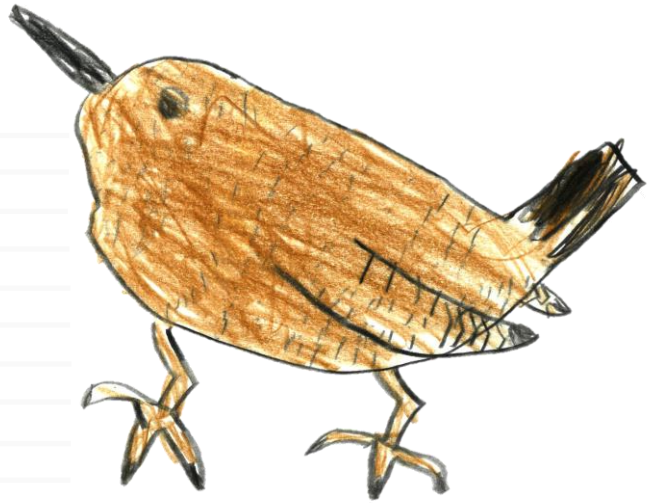
鳴き声：チャツ、チャツ

見られる時期

・11月～3月

小鳥の森で見られる場所

・各小径や沢治いなど



うちだ かいせ さん (6才) が描いてくれました。

## 12月 いきもの森予報



シジウカラ



ヤマガラ

### バードウォッチングの季節

吐息が白く見え、冬らしくなる12月。一年の中で一番バードウォッチングがしやすくなる季節になりました。その理由のひとつは、落葉樹（秋に紅葉し葉を落とす種類の木）が枝と幹だけの姿になり、森の中がよく見えるようになるから。スギやタケなど一年中葉を付ける植物もありますが、夏のように重なり合う葉が少なくなり野鳥を見つけやすくなります。また、冬は虫などをはじめとする動物性のエサが少なくなり、野鳥たちは木の実や種などを多く食べるようになります。このため、森の中はもちろん、私たちが暮らす場所（公園や庭）にある木の实などに集まり、目にする機会が増えるようになるのです。

寒い日が続く季節になりますが、野鳥たちに出会えるチャンスがいっぱい。あたたかい服を着て、野鳥たちが夢中で食事をする姿を探してみてくださいね。

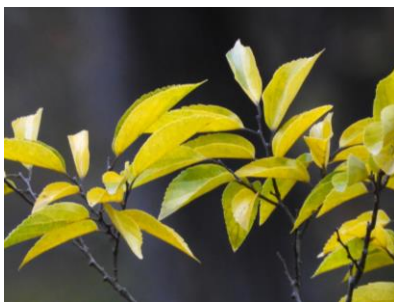
## 鮮やかな葉・冬鳥の訪れ

11月の最初の週は夏日（25℃以上の日）が記録されるなど、秋とは思えない気温に驚くこともありました。その後、急に冷え込んだせいか園内の木々は紅葉が進み、森の中はカラフルな葉で彩られました。緑色から赤色やオレンジ色や黄色に変化していくグラデーションは、この季節だけの美しさです。色付いたサクラやカエデ、エノキなどの葉がはらはらと落ちていくようすに、にぎやかだった季節の終わりと静かな冬の訪れを感じました。

また、今年も小鳥の森に冬鳥のツグミの仲間がたくさん入ってきました。集団で森の中をいどうする姿や、木の実を食べるようすなどを観察することができました。



オオモミジ（赤色に紅葉）



エノキ（黄色に黄葉）



ツグミ（冬鳥）

## 自然のお便り

## 雪の大きさ・質いろいろ

冬になると雪が降るようになりますが、よく観察してみると粒の大きさや触りごちが違うことが分かります。

大きくボトボトした重い雪、細かくサラサラした軽い雪。その違いは水蒸気（ガス状態の水）や気温が関係しています。

空の高い場所は気温が低く、水蒸気（気体）はこおって氷の粒（個体）へと変化し結晶します。その氷の粒が重たくなって空中に浮いていられず、こおったまま地上へ落ちてくるものが雪の正体です。海の近くなど水蒸気の量が多い空では氷の粒がたくさんでき、おたがいにくっついて大きな雪になります。逆に陸の上空は水蒸気が少なく小さなまま雪に。また、気温が高い場所では結晶が溶け、傘が必要な湿った雪になります。反対にぐっと冷え込んだ低温では結晶のまま降り、サラサラとした粉雪になります。

今年の冬はどんな雪が降るのでしょうか。ぜひ観察してみてください。

## 年末・年始のご利用について

## 年末年始のお知らせ

2023年も残りわずかとなりました。今年も福島市小鳥の森が「開園40周年」を迎えた節目の年でした。11月3日に開催した40周年記念イベントには、たくさんの方々にご足をお運びいただきました。改めて御礼申し上げます。

小鳥の森は2023年12月29日（金）～2024年1月3日（水）が年末年始の休館となります。シジュウカラの小径をはじめとする観察路などは通常通りご利用いただけますが、野外トイレなどはございませんのでご注意ください。

2024年も引き続き小鳥の森をご利用いただけますようスタッフ一同お待ちしております。

皆さま良いお年をお迎えください。

\*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧ください。

\*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2023年12月号№450/企画・発行：福島市小鳥の森/NPO法人野鳥の会ふくしま

